

第8章 実現に向けて

「道の駅」整備の実現に向けて、特に下記の検討項目について、今後取組んでいきます。

(1) 一体型整備に関する調整・検討

「道の駅」は主要地方道瀬戸大府東海線沿いにあり、愛知県との一体型整備を予定しています。引き続き道路管理者である愛知県と調整・協議を行い、役割分担や協定等に関して検討していきます。

(2) 指定管理者制度の導入に関する検討

本計画では、「道の駅」の運営に指定管理者制度を導入し、運営者を民間事業者とすることとしました。第6章「整備・管理運営手法」に記載したとおり、民間ノウハウを活用できるなどのメリットがある一方で、短期間で指定管理者が交代することによってノウハウが蓄積できない、安定的な施設経営ができないなど、配慮すべきこともあります。

日進市では、一般に指定管理期間を原則5年間としています。他市町村の「道の駅」では、5年間、10年間、15年間など様々です。

また、施設内容・デザインなどの検討への参画や、開駅までの期間に地元住民・地域団体との積極的な連携ができるよう、予め、計画段階（基本設計、詳細設計）から指定管理予定者を定めている「道の駅」の事例があります。

こうした事例等を参考に、今後、指定管理者を定めていく手法等について検討していきます。

(3) くるりんばすに関する検討

本計画では、第4章「施設規模」、第5章「配置計画」において、「道の駅」にくるりんばすの拠点（バスロータリー）を配置することについても検討を行いました。基本計画の段階では、くるりんばすの拠点機能を「道の駅」に展開することを定めているわけではなく、可能性を残すという形で配置計画に位置づけています。

今後、開駅までを目標に、関係者と調整を進め、どのようにしていくかを検討していきます。

(4) 誰もが使いやすい施設デザインの検討

「道の駅」の整備コンセプト「市民が集い にぎわい 成長し 都市をデザインする『道の駅』」の実現に向けて、誰もが使いやすく、気軽に立ち寄り、安全で安心して利用することができるユニバーサルデザインを踏まえた施設整備を行うとともに、周辺環境と調和しつつ、日進市の新たなランドマークとして、主要地方道瀬戸大府東海線に対して視覚的にアピールできるデザインを検討していきます。

また、来訪者にとって分かりやすく、地域景観に配慮した統一されたデザインの案内サインや標識、照明灯等の整備を検討していきます。

(5) 「道の駅」における 市民活動に関する検討

「道の駅」では、多くの市民活動が展開されることを期待しています。基本計画の策定において、市民アンケートや各種ヒアリングを実施し検討してきましたが、今後、さらなる市民活動の可能性などを研究、検討していきます。